

俺は昨日
奇妙なサイ
催眠アプリ
スマホを手
だが誰へか
躊躇している
放課後にな
てしまった。

そして
俺は天敵に
出くわした。

よおっ!○○ツ!
相変わらずボツチだな
あははっ!!

かなん
げえ花南?!
まだ帰って
なかったのかよっ!



こいつは西森花南にしもり かなん
子供の頃から知っている
幼馴染……。
というよりは犬がボールに
じゃれつくように昔から
こいつにイジメられている。

殴りつけたいという程ではない。
だが花南の遊戯で、いつも俺は
煮え湯を飲まされている。
こいつにだけは催眠アプリの
ことは知られたくない。
また、弄ばれてしまう。

でさ、廊下でコソコソ
スマホ見ながら
何してたんだ？
もしかしてエロサイト
とか見てたのか？
ならキモすぎしょっW

ちよつと
あたしに見せてみるよ

マズいっ!!
一番知られたくない
ヤツに催眠アプリを
知られてしまうっ!!

花南はスマホの先端に
指をあて、ひょいっと
テコの原理で押し下げられ
画面を覗き込まれる。
しまった。



催眠アプリ?!
好みの女性と
エッチしよう……!!
!?

……えっ？あんだマジ？！
催眠アプリって……！
しかもこんな安っぽいのを
信じてるの？
きつしょマジひくわー
童貞拗らせすぎつしょー

でもまあ
あんたみたいな非モテが
こういうのに
すがりつくのもなんとなく
わかるわー

花南は憐憫のこもった眼で
俺をにらみつける。
——終わった。
そう思った時、
花南は想定外の事を口にした。

それ催眠アプリって
ヤツ...?
かけてみるよあたしに。
万が一にもつてことが
あるかもしれないぞW

でもまあ
無理だよな
お前は昔から
意地なし
だからなあW

なあっ!?

花南は小馬鹿にした
態度で挑発する。
俺の事を明らかに
あざわらっていた。

花南の罵言はどんどん
饒舌になっていく。
俺は堪忍袋の緒がブチブチと
切れていくのを感じた。

どうせ廊下を
ほっつき歩いてたのも
催眠(笑)をやる度胸も
なくて途方に暮れてた
んしょっw

くふっw
想像したら
情けなさ過ぎて
いっそ悲しくなってきたわ

畜生!!
好き勝手言いやがって!

俺は花南への腹立たしさと
凶星をつかれた情けなさで
破れかぶれで催眠アプリの
画面をタッチした。

キュッ

くらえっ!!

催眠ボタンを
タッチするとスマホから
ノイズ音が一瞬流れた。
ただそれだけだった。



はあ何言ってるんだ？
あたしが催眠に
かかったから
あたしの勝ち
だろ？

だから罰として
フェラチオしてやるから
覚悟しとけよ童貞くん♪

花南の言葉に
俺を引っかけようと
する様子は無い。
まさか本当に
催眠にかかって……？



しばらく花南と会話したが
花南の話す内容は当を得ず
まるで酔っている雰囲気だった。
心はここにあらず
どこか夢心地……。

花南はこれが罰ゲーム
だと言った
俺に服を脱げと命令した。
俺は彼女の言う通りにし、
丸裸になった己の肉棒を
花南の前に晒した。

はあっ♥ふう♥
あんた中々良いチンポ
もってるじゃん
童貞のくせに……♥

しかも
チンポくっさ♥
ちやんと
洗ってる？

おわ……
ピク

花南って
意外に胸あるよな

非現実的な光景が
眼下に広がる。
ヤバい。本当に
催眠をかけている……！
できている……！

しかもチンカス
ついでに
キモすぎ♥
ふう♥スンスン♥

ヤバッ♥
ほんとにくっさ♥
ドキドキする♥♥♥

なわ...

そんなに俺の
チンポの臭い
がすきなのか?

馬鹿そんなわけ
ないでしょ♥

花南がチンポの臭いで
発情するように
アプリで設定をいじった。
花南は鼻を鳴らしながら
俺の肉棒の臭気をしきりに
嗅いでいる。

ほらっ
もつと嗅いでみて
いいんだぞ

ぞろぞろ

なわ...

ふう♡

ふう♡

ふー♡

くはっ♡はあ♡
変態チンポのくせに
オス臭キツすぎ...♡
すんすんっ♪

我慢汁垂れて
チンポバキバキだし
すう...はあ♡♡♡
くさすぎ♡

花南は黙っていれば
クラスで一二を争う
美少女だ。
もつとも難がある性格の
せいで男子人気は低い
みたいだが。

んじん
ふゅっ
っる♡♡♡
きエふ
っグっ♡
っ味♡♡

うおっ!
花南勝手に
チンポを舐めるなっ

うん♡♡ぢゅる♡
っふっ♡あある♡
これはあいなたへの♡
罰ゲームなんだし♡
黙ってフエラオされろ♡

ちゅ♡
ちゅ♡

ん♡
ん♡

ん♡
ん♡

ん♡
ん♡

ん♡
ん♡



花南は俺のチンポを
求めてきた。
どうやら自分の欲情を
抑えられないようだ。

このままあたしが
本格フェラチオ
してやるから
逃げるなよ♥

んもっ♡じゅるっ♡
じゅるるるっ♡
んふっ♡カリ首の根本
とても味が濃い♡

ううっ！
花南の吸い付き
やばいっ！

膨れ上がった亀頭を
花南は舌と唇を使って
生温かく包み込む。
これだけでも
射精感が込み上がってきた。

うむっ
うむっ
うむっ
うむっ
うむっ
うむっ
うむっ
うむっ
うむっ
うむっ

ぐおつ！
おおおつ！！



三

背筋に甘い電流が走る。
花南は喉奥まで
ゆっくりとチンポを飲み干す。

チンポの牡臭さ、が
鼻から抜けてっ
んふっ♡ふっ♡
じゅるっ♡じゅるっ♡

花南は口を窄めて
必死に肉棒を愛撫する。
普段の花南からは
想像できないエロさだ。

んっ♡じゅるうっ♡
口元をゆるゆるにして
あんたって
本当にキモすぎ♡♡

ベロが裏筋を刺激して
マジ最高
花南がこんな
ドスケベだったなんてな

んっ！
調子にのるなっ♡
これはお前の
罰ゲームなんだからっ♡
だまっつて搾精されろっ♡♡♡

花南は主導権を握ってるのは
自分と言わんばかりに
口淫をより一層激しくする

くおっ！
花南の本気フェラ
やべえ！

チンポの臭いが
どんどん強くなってくる
お前ももうすぐ
イキそうなんだな? ♡

あたしがロマンコで
全部ザーメン抜き取って
やるから覚悟しろっ ♡ ♡

じゅん

日頃の恨みを晴らすべく
俺の射精と同時に
花南がイクようにスマホで
催眠パラメーターをイジる。



じゅるるっ♥ぢゅろろっ♥
ぢゅ♥ぢゅっ♥
チンポビクビクさせて生意気♥

んぼっ♥ぢゅるっ♥
ぢゅううっ♥
ぢゅるっ♥さっさと射精せっ♥
キモオタっ♥

じゅるるっ♥
イけっ♥
この馬鹿♥
イけっ♥
じゅっ♥



ぢゅぽっ♡ぢゅっ♡
じんっ♡じんっ♡
じゅうう♡♡♡

射精すぞっ！
花南の口マンコにっ！！

射精アクメで
こいつを
屈服させてやるっ！



次から次へと
出てくる精液を
花南の喉まんこに
流し込んでいく。

んん
んん
んっ
ん♥
んん
っっ
っ♥
っ
♥
♥
♥

וזה

「フッ」



花南の体が
ビクンっとはねる
どうやら俺と
同調して
イッたようだ。

全部飲めよ
花南つ！

花南はポタポタと
飲み切れなかった精液を
舌からこぼれ落とす。

んちゅっ♥ちゅっ♥
濃くて量多すぎるっ♥
んふっ♥ぢゅるるっ♥

ぢゅるっ♥ぢゅうう♥
すごっ♥さっきより♥
オス臭キツくなっ♥て
チンポもどんどん♥
大きくなっ♥てる♥



折角射精してやったのに
ザーメンこぼしやがって

ビクビク

は

は

は

ゲロ

今から罰として
俺が花南を
オナホにしてやるからな
覚悟しとけよ

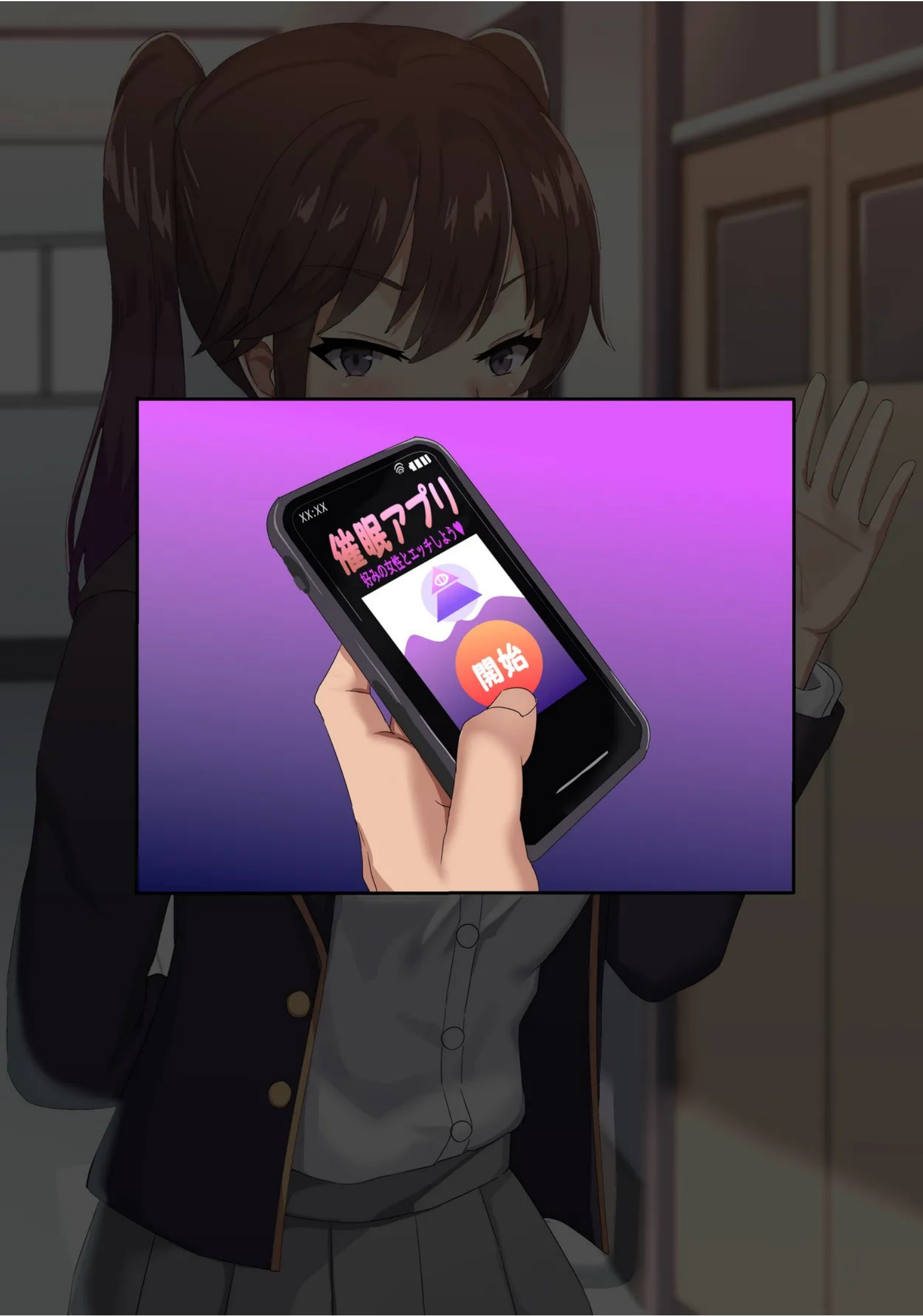
ビク

ビク



















































それ催眠アプリって
ヤツ...?
かけてみるよあたしに。
万が一にもつてことが
あるかもしれないぞW

でもまあ
無理だよな
お前は昔から
意気地なし
だからなあW



ほらっ
もつと嗅いでみて
いいんだぞ

ぞぞぞ

なわ...

ふっ

ふっ

ふー

くはっ♥はあ♥
変態チンポのくせに
オス臭キツすぎ...♥
すんすんっ♪

我慢汁垂れて
チンポバキバキだし
すう...はあ♥♥♥
くさすぎ♥